

中国語コンテストで法学部生好成绩

団体「2位」

堀口さん 個人3位に入賞

11月30日、東京・千代田区の法政大学市ヶ谷キャンパスで行われた第4回「説漢語 通中国」中国語コンテスト(東日本漢語教師会主催 中国大使館教育処後援)で専修大学法学部の学生が好成績を収めた。



▲ 左から比嘉さん、堀口さん、岩田さん

堀口さん、比嘉盛一朗さん(法2)。同コンテスト大学の部

には首都圏の10大学36人が参加。会場には3人の中国語の先生である于曉飛(飛)商学部非常勤講師が駆けつけた。

個人の部で堀口さんは「社会に出て中国語を生かす、日中両国が仲良くなるような関係を築きたい」と「私の夢」を見事にスピーチ。

1年次から于講師と前川亨(前)法学部教授の下で中国語を学んだ堀口さんは中国語検定2級の中国語上級レベル。「本番を指し練習に練習を重ねてきました。本番の会場では先生の姿が見えたので心強かった。素晴らしい思い出になりました」と話した。



▲ SKVのメンバーが心肺蘇生法を実演

命を救える人になろう

V会 K習 S講 AEDの操作、搬送法など学ぶ

目の前で誰かが倒れたら進んで助けを。SKV(専修神田ボランティア)のメンバーが救命方法を伝授する救命講習会が11月22日、神田キャンパスで開かれた。心肺蘇生の行い方やAEDの使い方、傷病者の止血法や搬送法などを教える実践講座で、今回は4回目。専大生のほか他大学の学生、職員、OBら84人が参加した。

「倒れている人への声す。胸骨圧迫と人工呼吸を行う心肺蘇生や、電気ショックを施すAEDの操作を体験した吉村琴恵さん(法1)は「初めはこずったけど2回目からはまできた。いざという時は対応できると思います。」

続けて、三角巾を使った包帯法の基本である「本結び」や、傷病者を搬送する際の体勢や力の入れ方を講習。SKVの山口隆介代表(法2)は「できれば復習して自分のものにしてほしい」と講習を締めくくった。

AREA 防犯CD作成

SIV 地域美化運動に参加

地域の防犯に役立てようと、放送研究会AREA

A(大野貴啓代表・商の依頼で、多摩区長尾町3)は、防犯を呼びかけるメッセージを録音したCDを作成した。このCDは多摩警察署

も活用される予定。大野代表は「今後も地域に貢献していきたい」と語った。

また同日、多摩警察署で感謝状の贈呈式が行われた。放送研究会に加

え、日ごろから積極的に防犯活動に取り組んでいるSIV(専修生田ボランティア)に感謝状が贈られ、齋藤郁前代表(人間科学3)に手渡された。12月2日早朝には、小田急線向ヶ丘遊園駅周辺で「地域美化運動(多摩区地域振興課主催)」が行われ、専大からSIVのメンバー5人が参加。路上に捨てられたたばこの吸い殻、空き缶などの清掃を行った。この模様を「かわさきワンセグ」(毎週火曜日生放送)を展開する福富忠和プロジェクト(ネットワーク情報学部)のメンバーが取材した。

ワイン大学開催

「第9回校友会ワイン大学」が11月21日、神田キャンパスで開催された。今回は「ロゼワインは万能選手？」をテーマに、江畑進一氏(シン・トレーディング代表取締役)がロゼワインの歴史や魅力について講演した。学生、教職員、校友会会員ら110人が参加し、江畑氏おすそめワインを試飲しながら、ワインの文化や楽し



▲ 作品をバックに。右から2人目が吉家代表

藤田寛之プロが本学訪問

ゴルフ部後輩を激励 ぶれない目標を

ゴルフ部OBでプロゴルファーとして活躍する藤田寛之さん(平5経済)葛城ゴルフ倶楽部所属)が12月2日、卒業以来初めて生田キャンパスを訪れ、後輩たちを激励した。

約30人の部員を前に藤田さんは「自分にいま足りないものは何かを考え、目標をしっかり持つことが大切。何人ものプロゴルファーを輩出してきた部の伝統を受け継いでほしい」と呼びかけた。「大事な場面で緊張してしまう。克服法は」



▲ 後輩たちとともに。中央が藤田さん



▲ 青色パトカーの前でCDを手渡す大野代表(右から2人目)



▲ 地域美化運動に励む学生たち

鳳選抜展 若々しい作品並ぶ



書道研究会(吉家和麻代表・ネット情報2)の作品展「鳳選抜展」が12月2日から15日まで専修大学サテライトキャンパスから顧問である仲川恭司(商3)▽新人賞▽堀川

文学部教授が選んだ21点と、同教授と福島輝子文学部非常勤講師の作品2点の合計23点。田口実奈子さん(法3)は、中国・唐の書家である孫過庭の書譜を作品にし、選抜展に選ばれた。「日々、練習に励み、挑戦する字を決めます。書は作品の背景を知ると面白が増す」と話す。「鳳選抜展」の各賞は次のとおり。

▽顧問賞▽加藤謙吾さん(商4)▽鳳眼会賞▽飯田美紗子さん(文3)▽特別賞▽丸野桃奈さん(商3)▽新人賞▽堀川